



志摩の歴史解明に 専門的立場から64名が挑戦

『新修志摩町史』本編は、自然編にはじまり、原始・古代・中世・近世・近代・現代の各時代と行政・文化財・生活文化の計10編からなります。

各編とも章・節・項などを立てて、詳細かつ簡明に叙述しています。

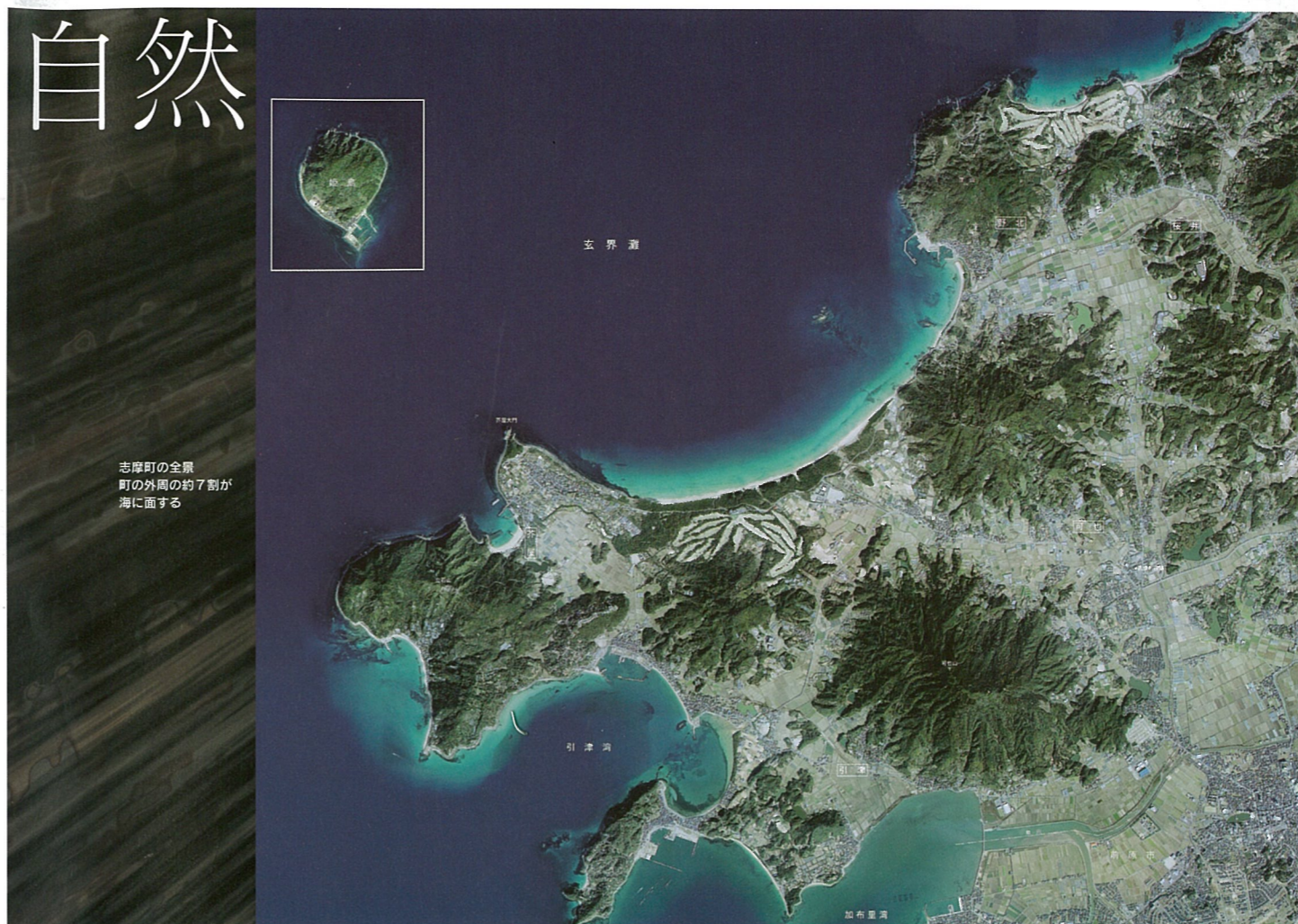
編集委員長
九州大学名誉教授 丸山 雅成

平成17年7月から編集業務を開始しました。当初は2年計画、旧町史の継続・追加の素案でしたが、これを大きく変更して、抜本的な改訂を旨とすることになり、史料収集・調査研究と執筆、印刷・製本など4年の歳月をかけ、上下巻1,800頁の『新修志摩町史』が完成しました。

これまで全然知られなかった志摩町の歴史的展開の内実が、多面的に深く明らかにされています。収集史料は、町史刊行後には町内外の歴史研究者・愛好家の利活用に便宜を提供することにしてあります。

氏名	担当	役職など
委員長 丸山 雅成	中世・近世	九州大学名誉教授
副委員長 三坂 昭	行政	元助役
委員 石瀧 豊美	近代	福岡地方史研究会会長
〃 長 洋一	古代	元西南学院大学教授
〃 吉田 昌彦	現代	九州大学教授
〃 進藤 嘉和	伝説・方言	元社会福祉協議会会長
〃 樽木 武洋	人物	元小学校校長
〃 吉塚 勇雄	地名	元教育委員会教育委員長
〃 河合 修	原始・文化財	教育委員会文化財担当

自然



日本歴史の縮図ともいえる 地域的展開をした志摩地域

志摩地域の歴史・文化は、その立地条件から古来、国内・国際的環境の影響をつよく受けながらも独自性を保ち、日本歴史の縮図ともいえる地域的展開を示したことが、本書の叙述からうかがえます。



編さん委員長
志摩町長 末崎 亨

わが町には、大陸文化交流の要衝として沢山の文化財が発掘されており、稀にみる歴史の宝庫だと言われています。永い歴史と伝統を持つ志摩町は、過去幾度にもおよぶ大災害に見舞われ、先祖から預かった素晴らしい環境が一時は消滅の危機に遭遇しましたが、粒々辛苦、住民の結束は固く、見事に復興を果たしました。

今回の志摩町史は、「新修」と名付けて既刊の町史を深く掘り下げ、専門的な見地から国の歴史との関係を証明したものであり、他に類を見ない斬新な町史が完成しました。